



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2017/09/01

研究課題名	<p>地域がん登録と日本産科婦人科学会データを用いた若年子宮頸癌の予後に関する研究</p> <p>(1) 多時点コホートによる時系列変化の検討</p> <p>(2) <b>年齢と予後の関連についての検討 (←本研究はこれに該当します)</b></p> <p>(3) データベースの利活用向上についての検討</p>
研究の対象	2000年1月から2011年12月に当院産婦人科で、子宮頸がんの診断で初めて治療を受けた方のうち、条件を満たした方
研究目的・方法	<p>若い人の子宮頸がんが増えています。もし子宮頸がんの予後が、年齢で差があるとわかれば、予防対策や治療を、より適切に進めていくことができます。</p> <p>そこで本研究では、「子宮頸がんの予後が、年齢で違いがあるかどうか」について検証します。方法は、院内がん登録データをもとに比較研究を行います。</p> <p>2015年7月より2021年12月まで実施予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	使用させて頂く情報は「ステージ、初回治療前後の検査結果、初回治療の方法、予後情報等」です。「個人を特定する情報(カルテ番号、生年月日、イニシャルなど)」は、使用しません。
外部への試料・情報の提供	<p>外部へのデータの提供は行いません。</p> <p>データは、特定の関係者以外がアクセスできませんので、ご安心下さい。</p>
研究組織	<p>(研究責任者)</p> <p>医学研究所北野病院 健診部・副部長 榊原 敦子(プロトコル作成責任者)</p> <p>(共同研究者)</p> <p>医学研究所北野病院 産婦人科・主任部長 樋口 壽宏</p> <p>医学研究所北野病院 産婦人科・副部長 寺川 耕市</p> <p>医学研究所北野病院 研究支援センター 品質管理室・室長 片山 俊郎(統計解析責任者)</p> <p>京都大学・名誉教授 小西 郁生</p> <p>大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部・主任研究員 伊藤 ゆり</p> <p>京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系・専攻長 健康情報学分野・教授 中山 健夫</p> <p>京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野・非常勤講師 宮崎 貴久子</p> <p>城西大学大学院 薬学研究科 医療栄養学専攻・准教授 内田 博之</p> <p>山梨県立大学大学院 看護学研究科 地域看護学領域・教授 小田切 陽一</p> <p>熊本大学医学部附属病院 地域医療システム学講座・教授 松井 邦彦(プロトコル作成責任者)</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連試料を閲覧することが出来ますので、お申し出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象とはしませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 医学研究所 北野病院 健診部 榊原 敦子</p> <p>(代表電話:06-6312-8831)</p>